

浜中町地域公共交通活性化協議会

平成30年7月3日設置



概要

浜中町では、釧路市まで運行している霧多布線において、厚岸線～浜中町間の利用者が大幅に減少しており、当該区間を継続して運行していくことが困難になっていることに加え、町内農村部を運行する町内巡回バスの利用者が特定少数となっているなど、町内公共交通網の効率化・合理化が求められていた。そこで、平成30年度から町民を対象とした生活交通に係るアンケート調査や町内公共交通の利用実態調査、町民との意見交換を実施し、町内公共交通網のあり方について検討を行い、令和2年5月に「浜中町地域公共交通網形成計画」を策定し、JR花咲線や都市間バス、霧多布厚岸線と連携した広域生活移動の支援、町内公共交通の利便性向上に資する公共交通網の構築、町民や観光客などを対象とした鉄道も含めた公共交通の利用を促す利用促進策の展開を基本方針として、町民の生活交通確保に努めることを目的とした。

この基本方針に基づき、町内公共交通網を構築すべく、地域公共交通確保維持事業として霧多布湿原線、茶内線及び浜中線を新たに運行することにより、町民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

○地域公共交通の現況

- ・JR花咲線(茶内線、浜中駅、姉別駅)
- ・霧多布湿原線(2路線)、霧多布散布線(1路線)、霧多布厚岸線(1路線)
- ・茶内線(1路線)・浜中線(1路線)
- ・スクールバス(13路線)・貸切バス(1社=(株)浜中運輸)
- ・都市間バス(1路線)・タクシー(1社=霧多布中央ハイヤー(株))

○地域公共交通の課題

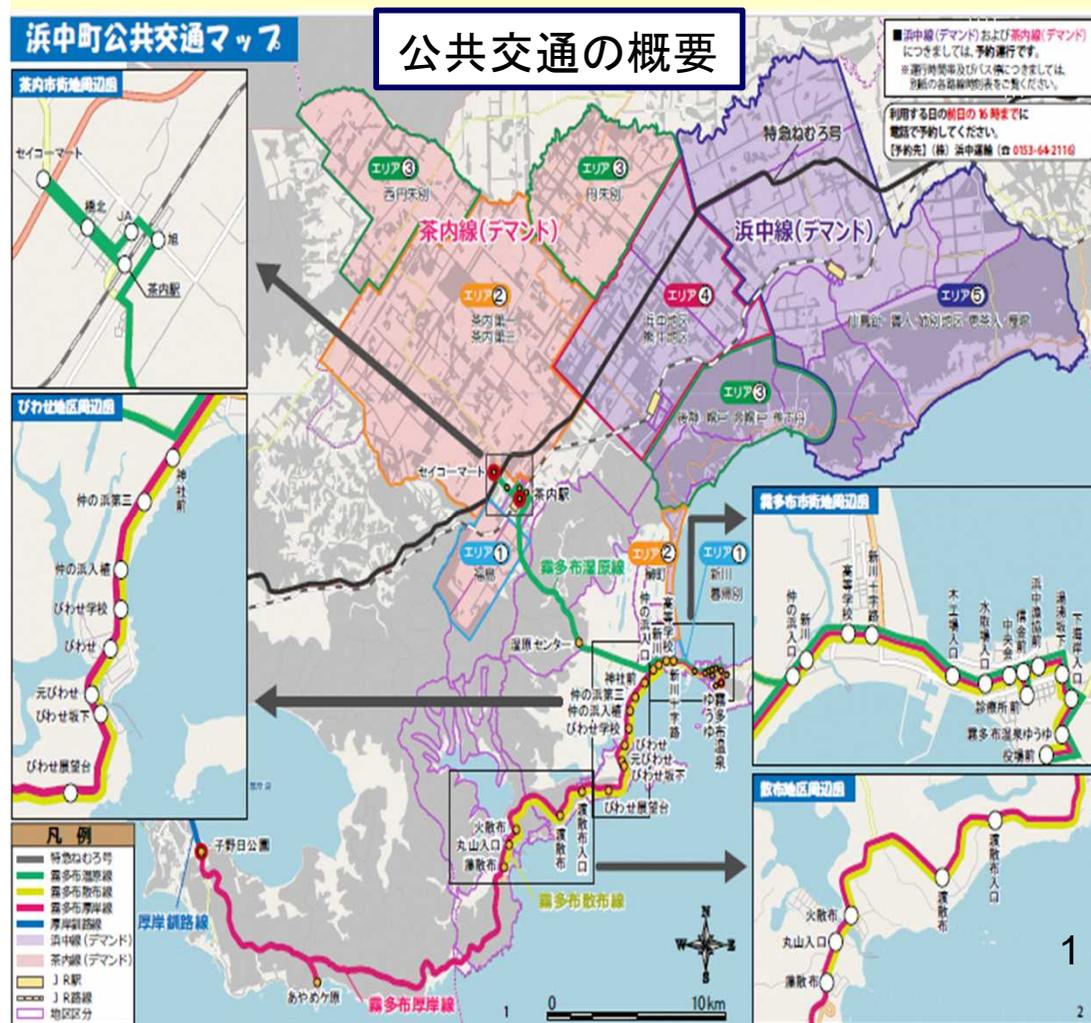
- ・町民等の広域的な生活移動を支える公共交通の維持・確保
- ・市街地間あるいは郊外部から市街地までの効率的な移動手段の維持・確保
- ・地域交通の利用を促す利用促進策の展開

○調査の主な内容

- ・地域公共交通の実態整理(交通事業者等への実態ヒアリング調査)
- ・定時定路線3路線の利用実態調査
- ・町内6会場での住民意見交換会

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和7年6月27日 第1回協議会を開催(書面開催)
 - ・令和8補助年度浜中町地域公共交通網形成計画(案)について
- 令和7年12月19日 第2回協議会を開催(書面開催)
 - ・協議会規約の一部改正について
- 令和8年1月13日 第3回協議会を開催
 - ・浜中町公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について



浜中町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

○バス利用実態調査の実施

・浜中町内を運行・経由している函館バスの利用状況の把握に向け、利用実態調査を実施し、その結果の分析・取りまとめを行った。

調査日	調査対象路線		便数	調査内容
令和7年8月26日(火)	霧多布散布線	ゆうゆ ⇄ 藻散布	3便	・バス停別利用者数 ・利用目的 ・乗継状況 等
		藻散布 ⇄ ゆうゆ	3便	
	霧多布厚岸線	ゆうゆ ⇄ あやめヶ原	1便	
		ゆうゆ ⇄ 子野日公園	3便	
		子野日公園 ⇄ ゆうゆ	3便	
	霧多布湿原線	ゆうゆ ⇄ 茶内駅	6便	
		茶内駅 ⇄ ゆうゆ	6便	

【バス利用実態調査の結果】

- ・各路線において、便ごとの利用者数には偏りが見られ、空便も発生している。
- ・また、「霧多布散布線」及び「霧多布厚岸線」では、時間帯によって利用者数が少数となっている。
- ・一方で、特定の時間帯や区間においては一定の利用が見られ、地域住民の日常生活を支える重要な移動手段としての役割を果たしている。
- ・利用目的を見ると、「霧多布散布線」は買い物等、日常生活における移動に利用されており、「霧多布厚岸線」は主に通学目的で利用されている。
- ・一方で、「霧多布湿原線」については、観光目的での利用が最も多い路線となっている。

⇒住民や観光客の移動を支える重要な路線であることから、今後も継続的な維持・確保が重要である。

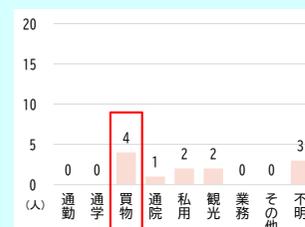
■各路線の利用者数

路線	起点→終点	発時刻	着時刻	利用者数(人)
霧多布散布線	ゆうゆ → 藻散布	10:20	10:49	3
		13:00	13:29	0
		18:40	19:07	0
	藻散布 → ゆうゆ	10:55	11:25	3
		13:35	14:05	2
		19:10	19:34	0
霧多布厚岸線	ゆうゆ → あやめヶ原	5:20	6:00	1
		6:45	7:35	1
	ゆうゆ → 子野日公園	14:45	15:40	0
		16:45	17:40	1
	子野日公園 → ゆうゆ	7:40	8:30	6
		15:45	16:35	1
17:45	18:35	1		
霧多布湿原線	ゆうゆ → 茶内駅	6:10	6:40	2
		8:55	9:30	0
		11:35	12:10	1
		14:00	14:50	5
		16:50	17:25	3
	茶内駅 → ゆうゆ	19:45	20:15	0
		6:55	7:25	0
		9:45	10:15	7
		12:25	12:55	2
		14:45	15:25	4
17:40	18:10	0		
21:09	21:39	1		

■各路線の利用目的

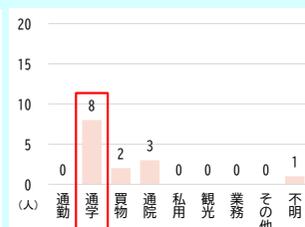
<霧多布散布線>

▶「買い物」の利用が最も多い



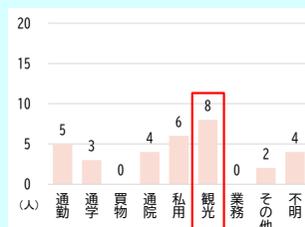
<霧多布厚岸線>

▶「通学」の利用が最も多い



<霧多布湿原線>

▶「観光」の利用が最も多い



浜中町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

○住民等関係者との意見交換会の実施

・住民の公共交通に対するニーズや利用実態等を把握し、計画策定における方向性の検討の基礎資料とすることを目的に、住民との意見交換会を実施した後、分析・取りまとめを行った。

日時		会場	対象地区	参加人数
令和7年11月18日(火)	18時00分	浜中町漁村センター	散布	2名
令和7年11月19日(水)	10時00分	浜中町茶内第一住民センター	茶内第一、茶内第三、円朱別、西円朱別	3名
	13時30分	浜中町茶内コミュニティセンター	茶内市街地・近郊	1名
	18時00分	浜中町総合文化センター	霧多布、湯沸、新川・暮帰別、仲の浜、琵琶瀬、榊町、奔幌戸	5名
令和7年11月20日(木)	10時00分	姉別農村環境改善センター	姉別、厚陽、貫人、恵茶人	5名
	13時30分	浜中農村環境改善センター	浜中市街地・近郊、熊牛	1名

【意見交換会で把握した内容】

(1) 日常の移動について、(2) 公共交通の利用について、(3) 移動・利用に関するお困りごと、(4) その他

【意見交換会の結果】

地域の意見・要望など	検討すべき課題
公共交通利用者の声 <ul style="list-style-type: none"> ・乗りたい時間帯にバスの運行がない(下校時間、買い物・通院時間など) ・バスを待つ場所がないので待合所などを設置してほしい 	生活に合わせた交通のあり方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・需要に合わせたバスダイヤの見直し ・生活行動に合わせた交通網の検討 ・バス乗降場の改善(待合所の設置やバス停留所の整備)
他の交通機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・都市間バス(特急ねむろ号)の遅延対応 ・都市間バス(特急ねむろ号)と町営バスの接続の改善 ・根室交通と浜中町との連絡体制を工夫改善してほしい ・朝一のJR花咲線がなくなり移動に大変困っている 	連携をより考慮した運行形態の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・都市間バス(特急ねむろ号)の遅延への対応策の検討 ・接続時間の改善に向けた検討 ・JR花咲線や都市間バス(特急ねむろ号)との乗り継ぎを考慮した運行形態の検討 ・根室交通と浜中町との連絡体制の構築
利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの便数が少ない ・自宅からバス停留所や最寄り駅まで行くのが大変 ・行き帰りで利用できる路線やバス停留所が異なるので何とかしてほしい 	より利用しやすい仕組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・自宅からバス停留所や最寄り駅までの繋ぎ方の検討 ・公共交通サービスの水準向上(運行ダイヤの見直しや定時性の確保等)
公共交通に対する考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・今の公共交通を維持しながら新たな公共交通サービスを検討してほしい ・運転免許返納後の移動手段に対する不安がある 	将来を見据えた運行形態の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えた公共交通の改善、現在の路線を廃止、縮小しないための検討 ・今後の免許返納後を見据えた新たなサービスの検証・検討(ドアトゥドアの運行等)

浜中町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

○ 計画目標

「誰もが安心・安全に住み続けられ、町内への来訪者との交流にも資する地域交通の維持・確保」

○ 課題・重点課題

観 点	課 題
人口と高齢化率の推移	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢化が進行する中で、高齢者等の交通弱者のニーズに即した安心しておでかけできる交通を確保することが重要
生活関連施設の立地状況	<ul style="list-style-type: none"> 町内の主な都市機能が集約されている霧多布市街地までの移動手段を確保し続けることが重要 町民の生活圏は、町内に加え、釧路市や厚岸町も含まれており、町内の移動の確保のほか、JRやバスとの乗り継ぎの継続的な確保を行い、広域的な移動支援を行うことが重要
地域交通の運行状況	<ul style="list-style-type: none"> 町営バス、予約運行型交通、各種助成制度など複数の交通手段については、バスマップ等を通じて体系的に整理・情報提供が行われているものの、町内移動と広域移動における役割の違いや使い分けについて、町民の理解や利用行動に十分結び付いていない側面があります
観光の状況	<ul style="list-style-type: none"> 町内には多くの観光客が来訪するものの、町内の地域公共交通は、生活移動での利用目的がメインであることから、観光客利用も促進する取組みの実施が重要
地域交通のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 町民の2割程度は地域公共交通等を活用しないと移動できる実態にあるため、地域公共交通等を必要としているターゲットに即した施策検討が重要 バスマップ配布事業の存在を知らない町民が6割以上となっている現状を踏まえ、現在の交通サービスを着実に認識し理解していただく機会を創出することが重要
町民の移動支援策に係る浜中町の負担額	<ul style="list-style-type: none"> 路線や運行形態ごとの役割や必要性は整理されているものの、利用実態や財政負担の変化を踏まえた継続的な検証と優先順位の見直しが求められています 国・道の補助制度を活用しながら移動支援策を維持しているものの、交通事業者の経営環境や人手不足の影響により、将来的に町単独負担が拡大するリスクを内包しており、財政面での持続可能性を見据えた運行水準や支援の在り方の検討が課題となっています

重点課題1	町民等の広域的な生活移動を支える公共交通の維持・確保
重点課題2	市街地間あるいは郊外部から市街地までの効率的な移動手段の維持・確保
重点課題3	地域交通の利用を促す利用促進策の展開

浜中町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

○基本方針・施策・事業

基本方針	施策・事業
基本方針1 JR花咲線や都市間バス、霧多布厚岸線と連携した広域生活移動の支援	<事業1-1> 通学支援等を目的とした霧多布市街地と厚岸町間を結ぶ都市間バスの運行継続
	<事業1-2> JR茶内駅における町内交通との接続性の確保
	<事業1-3> くしろバス釧路厚岸線及び特急ねむろ号との接続性の確保
	<事業1-4> 特急ねむろ号との乗り継ぎ環境の改善に資する待合環境の整備
基本方針2 町内公共交通の利便性向上に資する公共交通網の構築	<事業2-1> 町民の生活行動を支える霧多布湿原線の運行継続
	<事業2-2> 農村部における需要に即した予約運行型乗合交通の運行継続
	<事業2-3> 町内交通間の利便性の向上のための乗り継ぎ時間の検討・実施
基本方針3 町民や観光客などを対象とした鉄道も含めた公共交通の利用を促す利用促進策の展開	<事業3-1> 町民や観光客などにも分かりやすい町内公共交通マップの作成・配布
	<事業3-2> 利用者の支払いやすさを考慮した運賃支払い方法の検討・実施
	<事業3-3> 町民を対象とした公共交通活用検討ワークショップの継続的な実施
	<事業3-4> 高齢者等の町民を対象とした町内公共交通網の体験乗車会の継続的な実施
	<事業3-5> 町内小中学生と連携した「おらがまちのバスの意識醸成」に向けた取組の検討・実施
	<事業3-6> 町内生活施設と連携したお得なバス切符の検討・販売
	<事業3-7> 町内企業等と連携した町内交通の持続性に資する取組の検討・実施
	<事業3-8> 町民の利用実態に即した公共交通網の構築に向けた継続的なPDCAサイクルの実施

●事業実施の適切性

概ね計画通り事業は適切に実施された。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・地域公共交通網形成計画の見直しでの調査であり、状況の変化に対して多様な関係者からの意見も参考に調査結果をまとめることは大変だと思うが、今後も引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただくとともに、調査から得られた課題等を反映した地域公共交通計画をぜひ策定いただきたい。